

令和元年度

利尻富士町教育委員会点検・評価報告書
【平成 30 年度分】

令和元年 12 月

利尻富士町教育委員会

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成30年度の教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、報告書を議会に提出するとともに、今後の効果的な教育行政の推進と町民皆様への説明責任を果たしていくために、その結果を公表するものです。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、教育行政執行方針の施策に基づく次の主要な事務事業の実施状況について対象としました。

■学校教育の推進について

- ① 確かな学力の向上をめざす教育の推進
- ② 豊かな心を育む教育の推進
- ③ 信頼される学校づくりの推進
- ④ 安全で快適な教育環境の充実

■社会教育の推進について

- ① 生涯学習の推進
- ② 青少年の健全育成
- ③ 文化・芸術活動の推進
- ④ 健康づくり・スポーツ活動の推進

(3) 点検・評価の方法

「教育委員会の活動状況」等については、教育委員会会議の開催状況や会議にかけられた議案及び委員が出席した学校行事等の点検を行いました。

「主要な施策の点検・評価」については、「平成30年度教育行政執行方針」に掲げられた事業の内容・取組状況、自己評価及び今後の課題について点検・評価を行いました。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

平成30年度における利尻富士町教育委員会の会議は、8回開催され、次のとおり審議等を行いました。

開催日	出席委員数	付議案件等
4月4日 (水)	4名	議案第7号 利尻富士町立学校評議員設置要綱の廃止について 議案第8号 利尻富士町立学校運営協議会規則の制定について その他 ①平成30年度利尻富士町小中学校児童生徒在学者状況について ②平成30年度利尻富士町教育委員会事務局機構図について
6月20日 (水)	3名	議案第9号 平成30年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第10号 利尻富士町立学校運営協議会委員の委嘱について その他 ①利尻富士町空手スポーツ少年団補助金について ②平成30年度利尻富士町青少年健全育成町民会議事業計画について ③教育委員研修会（札幌市）7/12開催について ④建設事業の進捗状況について
8月23日 (木)	4名	議案第11号 平成31年度使用 小・中学校用教科用図書採択について 議案第12号 平成30年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について 議案第13号 利尻富士町立学校における働き方改革アクション・プランの策定について 議案第14号 利尻富士町学校教育推進計画作成委員の委嘱について その他 ①建設事業の発注状況について
10月30日 (火)	3名	議案第15号 平成30年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第16号 教育委員会事務局職員の任免について その他 ①平成30年度全国学力・学習状況調査結果について ②平成30年度利尻富士町文化祭の日程について ③利尻富士町教育委員会事務局機構図について

開催日	出席委員数	付議案件等
12月3日 (月)	4名	議案第17号 平成30年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第18号 利尻富士町教育委員会点検・評価報告書について 議案第19号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について 議案第20号 利尻富士町教育支援委員会委員の委嘱について その他 ①利尻富士町公園条例の一部改正について
2月28日 (木)	4名	議案第1号 利尻富士町教育支援委員会の答申について 議案第2号 平成30年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について 議案第3号 平成31年度利尻富士町教育行政執行方針について 議案第4号 平成31年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費予算について 議案第5号 平成31年度通学用自動車の利用者認定について 要望第1号 北海道利尻高等学校要望書について その他 ①利尻富士町学校教育推進計画の策定について ②利尻富士町学校管理規則の一部改正について ③平成31年度学級編成について ④平成31年度児童生徒名簿について ⑤平成31年度就学児童生徒名簿について ⑥各小中学校の卒業式・入学式について
3月11日 (月)	4名	同意第1号 利尻富士町教育委員会教育長の辞任について
3月27日 (木)	4名	議案第6号 利尻富士町教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第7号 教育委員会事務局職員の任免について 議案第8号 学校職員の任免について

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

利尻富士町教育委員会委員は、次のとおり出席しました。

※ 教育長を除く

期 日	内 容	開催場所	出席委員
4 月 4 日	利尻富士町教職員着任式	利尻富士町役場	佐藤委員外 3 名
4 月 6 日・10 日	町内各小中学校入学式	町内各小中学校	山本委員外 1 名
7 月 11～13 日	北海道市町村教育委員研修会	札幌市	佐藤委員外 1 名
10 月 3～4 日	宗谷管内市町村教育委員研修会	豊富町	佐藤委員外 2 名
10 月 30 日	総合教育会議	利尻富士町役場	佐藤委員外 2 名
12 月 3 日	教育委員学校訪問	鶯泊地区小中学校	佐藤委員外 3 名
12 月 5 日	教育委員学校訪問及び教育懇談会	鬼脇地区小中学校	佐藤委員外 3 名
12 月 3 日	給食組合教育委員会	利尻富士町役場	佐藤委員外 1 名
1 月 4 日	成人式	総合交流施設「りぷら」	佐藤委員外 3 名
2 月 28 日	給食組合教育委員会	利尻富士町役場	佐藤委員外 1 名
3 月 13 日・17 日	町内各小中学校卒業式	町内各小中学校	山本委員
3 月 22 日	利尻富士町育英資金運営審議会	利尻富士町役場	佐藤委員外 1 名
3 月 27 日	利尻富士町教職員離任式	利尻富士町役場	佐藤委員外 3 名

3 主要な施策の点検・評価

(1) 学校教育の推進について

子どもたちが、将来社会で自立して生きていく上で必要な学力を身に付けることができるよう、学ぶことへの関心・意欲を高め、わかる喜びを実感させる学習活動の改善・充実を図り、主体的に学び続ける態度を育み、社会の変化に柔軟に対応できる児童生徒を育成する教育の充実を図るとともに、学校と保護者や地域住民の期待に応える魅力ある学校づくりを推進する。

① 確かな学力の向上をめざす教育の推進

「確かな学力」の育成には、子どもたち一人ひとりが主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的、基本的な知識・技能の習得とその活用を通じて、自ら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をバランスよく伸ばしていくことが重要であるとともに、保護者・地域との連携をより一層図る必要がある。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○学力向上の取り組み ・学習成果の活用	・全国学力、学習状況調査への参加 小学校 6 学年 国語、算数、理科 中学校 3 学年 国語、数学、理科 「平成 30 年 4 月 17 日全国一斉」 小学生 28 名 中学生 18 名	・小学校においては、各教科とも全国・全道平均を下回っており、家庭学習の定着と個に応じた指導改善及び充実が望まれる。また、中学校においては、日常の授業改善が進んだことにより、「国語」では全国・全道平均を上回っているものの、その他の教科においては平均を下回っており、今後も、校内研修の充実を図り、継続的な学習習慣を促す働きかけ等の取組みを推進する必要がある。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
・ 学校訪問の実施 ・ 情報通信教育の推進 ○コミュニケーション能力を育む教育の推進 ・ 国際理解教育及び外国語教育の充実	・ T T（ティーム・ティーチング）の推進 ・ 家庭学習の習慣化の推進 ・ 義務教育指導監、指導主事の訪問要請 ・ 教育委員の定期的な訪問 ・ ICT 機器を活用した授業及び学習の実施 ・ A L T（外国語指導助手）の継続配置	・ 複数教員による学習指導の実践が図られている。今後も継続実施することが重要である。 ・ 家庭と連携、協力し学習意欲の向上及び継続的な学習習慣の定着に努める必要がある。 ・ 学習指導等について研究協議を実践し、教職員の指導力の向上が図られており、積極的な招聘の継続が必要である。 ・ ICT 機器の活用により、教師と児童生徒間でのコミュニケーションや子どもたち同志での学習内容の共有がより容易に行われるようになり、授業への興味・関心、理解促進につながり、主体的な学習への参加や、学習意欲・思考力・判断力などの向上につながっている。 ・ ALT の配置により、英語学習指導の充実が図られている。今後もグローバル社会に対応すべく ALT を活用した「コミュニケーション能力の向上」に努める必要がある。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○特別支援教育の推進 ・特別支援教育の全校的な支援体制の整備 ・「利尻富士町特別支援教育連携協議会」 との連携	・鴛泊小学校 1 学級、利尻小学校 2 学級 鴛泊中学校 1 学級、鬼脇中学校 1 学級 設置 ・特別支援教育補助員の配置 ・管内的な行事や交流活動への参加 ・教育講演会の開催等	・全校的な支援体制の充実が図られている。 今後も教職員の専門性の向上を図り、家庭・地域・関係団体と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに対応できるよう、特別支援教育を推進する必要がある。 ・広く地域の方に特別支援教育の理解促進を図るため、教育講演会等が実施されており、今後も継続した取組みが求められる。

② 豊かな心を育む教育の推進

児童生徒に、自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの心、規範意識や公德心、自然を愛する心など、豊かな心を育む教育の推進に努めることが重要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○豊かな心と感性の育成 ・道徳教育の充実	・地域に根ざした教材や体験活動を取り入れた道徳教育の実践 ・道徳教育教材「私たちの道徳」の効果的活用	・地域人材を活用し人権や自然保護、産業、へき地医療など様々な分野の道徳教育の実践が図られた。 ・教材の活用により、児童生徒の発達段階を踏まえた豊かな人間性と社会性を育む道徳教育の推進が図られている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
・ 奉仕、体験活動の推進 ・ 特色ある教育活動の推進 ・ 読書活動の推進 ・ ふるさと教育の充実 ○ 健やかな体づくり ・ 体力、運動能力の向上	・ ボランティア活動への参加 ・ 町内行事や体験活動への積極的参加 ・ 「利尻富士町子ども読書プラン」の推進 (平成 29 年度～令和 3 年度) ・ 「朝の読み聞かせ」及び「読書の時間」を設定 ・ 第 32 回読書感想文コンクールの実施 (応募総数 小学校の部 127 点・中学校の部 60 点) ・ 利尻島上空 HAC 遊覧飛行 (町内小学校 6 年生 28 名参加) ・ 学校における体力づくりの推進 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施)	・ 地域の方々との交流により郷土愛に対する子どもたちの意識向上が図られた。 ・ 地域の特性を活かした産業体験等を通して、豊かな心の育成など特色ある教育活動が推進されている。 ・ 豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取り組むことができている。今後も地域の読書ボランティアの活動による小学校低学年への読み聞かせを継続的に実施し、本に親しむ機会づくりに努める必要がある。 ・ 町内全校の児童生徒を対象に実施している。読書の習慣化により、豊かな人間性の育成が図られている。 ・ ふるさとに愛着や誇りを持てる人材育成の推進が図られ、今後も継続した取り組みが必要である。 ・ 子どもの体力運動能力を的確に把握するとともに、地域行事等と連携し体力・運動能力向上に努めている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
・ 各種健診の実施及び保健指導の充実 ・ 食育の推進 ○保護者などへの教育費支援 ・ 就学援助、育英資金の貸与	・ 町内、管内中体連部活動 (駕中バトミントン全道大会(深川市)出場補助) ・ 学校保健安全法に基づく各種健診等の実施 ・ へき地児童生徒巡回検診事業 (専門医耳鼻咽喉科検診) ・ 栄養教諭の学校配置(利尻小学校への配置) ・ 平成30年度準要保護扶助費の状況 小学校17名 中学校7名 ・ 平成30年度育英資金貸与の状況 継続 2名(大学1名、短大1名) 新規 5名(大学1名、専門学校4名)	・ 児童、生徒数の減少により、小規模校による団体競技の活動が難しくなっている。 ・ 児童生徒の健康の保持増進を図るため適切な健康相談及び健康診断が実施されている。今後も適切な指導により、児童生徒の健康管理や疾病の予防・早期発見に努める必要がある。 ・ 食育指導により、元気な体づくりと食習慣、食生活の大切さを理解させることが図られており、継続実施が必要である。 ・ 経済的に困窮する児童生徒や保護者への就学援助であり、継続して実施することが必要である。 ・ 学業優秀であるが経済的理由により就学困難な生徒に対する就学資金貸付制度であり、有為な人材育成のため、今後も継続した取り組みが重要である。

③ 信頼される学校づくりの推進

学校・家庭・地域社会が連携して、子どもたちを健やかに育むことが重要であり、学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者や地域に情報提供するなど、開かれた学校づくりに努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○特色ある学校づくり	・学校運営協議会及び学校支援地域本部事業の推進 バトミントン部活動、卓球部活動、スキー授業、技術指導、中学校（柔道・ダンス）授業へ指導者派遣、本の読み聞かせ、小学校1年生下校指導、社会科授業へ講師派遣 ・地域活動への積極的な参加	・地域が学校運営へ参画し、児童生徒の健全育成に一体となり取り組み、教育活動の充実が図られている。また、学校の要請を受け、部活動や教科補助において、地域ボランティアの協力により、学校支援活動が実施されており、子ども達が体験活動や地域の人との関わりを学んでいく上で重要な事業であり、今後も継続して取り組む必要がある。 ・地域行事等に参加することにより、子ども達の成長や学校運営を理解していただける様、今後も様々な活動の推進を図ることが大切である。
○教職員の資質・能力の向上、健康管理	・学校評価の積極的な取り組みの推進	・アンケート調査等による学校評価の自己点検の充実を図り、課題の整理と改善策に取り組むことが今後も必要である。 ・地域に開かれた学校づくりの一環として、「学校だより」の定期的な発行による情報発信、広報活動に努めている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	・ 校内研修、研究活動への支援 ・ 健康管理対策の充実	・ 例年実施される宗谷管内教育研究大会への参加による研究活動の推進が図られている。 ・ 校内研修に外部講師を招聘し、研修内容の充実を図るとともに町教育研究会への積極的な参加を通して、基礎・基本の定着を図ることが重要である。 ・ 各教科に関する研修はもとより特別支援教育や情報教育に関する研修会、各種専門研修会等への積極的な参加を呼びかけ、教師としての専門的知識や実践的指導力など資質の向上に努めることが必要である。 ・ 限られた予算配分での各種研修会への参加、人員不足による学校運営への支障等財政的及び人力的な支援が課題となっている。 ・ 校内研修に係る指導案の作成等事前準備に係る労力の軽減を図る必要がある。 ・ 教職員の心身の健康の保持増進は、教育活動を円滑に進める観点から重要であり、今後も継続することが重要である。

④ 安全で快適な教育環境の充実

火災や自然災害（地震・津波）を想定した、シュミレーションや避難訓練の充実を図り、児童生徒に高い防災意識を持たせることが大切である。また、交通事故についての安全教育と不審者や変質者から身を守るための安全教育や防犯対策が極めて重要であり、学校施設の整備・充実を図るとともに安全性の確保に鋭意努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○児童生徒の安全確保 ・緊急時を想定した避難訓練等の実施	・緊急時を想定した避難訓練の実施 ・交通安全指導等の徹底 ・登下校時の交通安全・防災及び防犯対策	・各学校では避難訓練を実施し、火災においては消火器の使い方の体験や自然災害（地震、津波）が起きたときの対応について、危機管理マニュアルに基づいた指導の徹底を行っている。 ・関係機関との連携強化を図り、事件・事故から子どもたちを守る取り組みを継続して実施することが重要である。
○いじめや不登校対策 ・生徒指導の充実	・いじめや不登校の未然防止、早期対応	・児童生徒の安全確保に当っては、情報の共有を図り、常に危機管理意識をもって指導に努めることが大切である。 ・各学校においては、保護者や児童生徒との面談や話し合いを行うなど、問題の早期発見、早期対応、早期解決に向けた取り組みを継続して行っている。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○学校の施設整備 ・校舎及び教職員住宅の維持補修 ・教育教材の備品整備	・各学校の状況に応じた計画的な維持補修 ・義務教育教材等備品整備 ・学校図書の整備	・いじめや不登校はいつでもどこでも起こることを念頭に、常に複数の目で見守り、教職員全員が児童生徒の担任であるという意識をもって、適切な指導・支援を行う取り組みを充実強化することが、今後も重要である。 ・今後も必要性や緊急度を精査し、計画的な維持補修が必要である。 ・各学校配分予算内で、一般庁用、義務教育、理科教育等の計画的な備品整備が図られており、今後も継続的な整備が必要である。 ・町内各学校の蔵書データの共有、読書の習慣づくりを関係機関と連携を図り、促進する必要がある。

(2) 社会教育の推進について

社会教育は、文化的教養を高め、人々に心の豊かさや生きがいをもたらすとともに、学校と家庭・地域社会の連携を促し、人との絆を強くし、地域の発展に寄与する大きな役割を果たすものである。子どもたちの育成においては、少子化・核家族化などにより地域における人間関係が希薄となる中、世代・地域間など人とのふれあいの中でコミュニケーション能力を培い「生きる力」を育むために、社会教育活動の一層の充実が必要と考える。

① 生涯学習の推進

趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもって生活できるよう、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進する。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○公民館等社会教育施設の活用 ・「心の豊かさを実感できる事業」の展開	・ 母の日に贈るカーネーション作り教室 5月10・11日開催（鬼脇公民館・りぷら） 小中学生10名参加（昨年20名） ・ 南浜獅子神楽こども教室 8月～11月 10回開催（鬼脇公民館） 小学生13名参加（昨年16名） ・ ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業 8月5日 全道大会・札幌市 子ども教室10名、保存会6名参加	・ 母への感謝と思いやりの心を育むとともに、手作り・創作活動の楽しさや喜びを体験できている。今後も継続して取り組むことが必要である。 ・ 鬼脇地区に古くから継承される「南浜獅子神楽」の技術伝承と由来を理解し、実技の体験指導を通して、礼儀作法の基礎を習得、豊かな人間性・健全な精神等社会性を養う活動が行われている。保存会との連携により、伝統文化の継承とふるさと教育としても継続した取り組みが重要である。

○読書活動の推進	・手芸教室 *開催日 10月 6回開催 8名参加 ・そば打ち教室 *開催日 12月9日 19名参加（昨年15名） ・しめ飾り作り教室 *開催日 12月23日 59名参加（昨年59名） ・「読み聞かせボランティア」の支援 ・ブックスタート事業	・手作りの楽しさ、ぬくもりを感じ、初心者から参加可能な教室であり、世代間交流の場としても大切な事業である。 ・年の瀬に、そばを打つ技術と、知識を学ぶことができることから、引き続き開催していくことが必要な事業である。 ・正月を迎えるために親子での参加も多く、親子のふれあいの場としても、継続していく必要がある。 ・読書ボランティアサークル「りっぷの森」によって、4月～9月の平日、朝読書の時間、駕泊小学校低学年の教室で輪番により読み聞かせを行っており、情操教育の推進が図られている。活動が長期にわたるので、より多くのボランティア登録者が必要である。 ・乳幼児期から絵本に触れる環境づくりに取り組む事業であり、今後も保健師等との連携を図りながら継続する必要がある。
-----------------	--	--

② 青少年の健全育成

青少年が個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性などを兼ね備え、心身ともにたくましく育つためには、学校・家庭・地域が一体となり社会全体で青少年の成長を支え守り育てて行くことが大切である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○関係機関、団体との連携	・利尻富士町青少年健全育成町民会議等	・次代を担う青少年が、自他共にかけがえのない存在であることを認識し、また社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、心身共に健康で、豊かな未来に希望をもった青少年の育成を推進している。
○学校支援地域本部事業の推進	・平成 30 年度学校支援活動 ＊新入生登下校時の交通安全指導 ＊部活動補助（バドミントン、卓球） ＊教科補助（柔道、スキー、ダンス） ＊読書活動支援（読み聞かせ、図書指導） ＊校外学習の引率補助（バドミントン） ＊ALT 派遣（利高アメリカ留学の事前研修）	・地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充を図るために取り組んでおり、子どもの豊かな成長を地域全体で支えることを目指し、今後も学校教育を支援するための幅広い総合的な取り組みを継続して行う必要がある。 また、人材の確保、派遣要請等の調整も含め、学校との連携を強化し、ニーズに応えられるよう支援することが必要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○心豊かな子どもたちの育成	・ 青少年の体験活動推進事業 「管内ジュニアリーダー研修会」 2月2～3日（稚内市） 中学生5名参加 ・ 利礼3町児童交流事業の推進 【日時】平成30年9月15～16日（礼文町） 【参加】小4～6年生児童19名 サブリーダー4名 ・ 放課後子ども教室推進事業の推進 （文化団体・社会教育機関・大学等と連携） *夏休みチャレンジ教室（8月6～10日） 町内小中学生 84名参加 北海道教育大学旭川校 学生7名 *冬休みチャレンジ教室（1月8～11日） 町内児童生徒 47名参加 利尻高等学校 生徒4名 *平日放課後子ども教室 鷺泊 61名登録（191日開催） 鬼脇 17名登録（197日開催） *書道教室 11名登録（9回開催）	・ 様々な体験活動を通して、地域活動やまちづくりに参画するジュニアリーダー養成を目的に実施している。今後も積極的な参加を促し、次代を担う子どもたちを育成することが大切である。 ・ 児童生徒が交歓・交流体験を通して、新たな発見と感動に出会い相互関係と友情を育むなかでリーダーとしての資質を高めるなど、子どもたちの健全育成を推進するためにも継続して開催することが必要である。 ・ 放課後や週末に子どもたちが、地域社会の中で安全で安心して過ごせる活動拠点（居場所）の提供ができています。 ・ 参加した児童生徒や保護者からの強い要望に応えるため、「平日放課後子ども教室」や「夏休み・冬休みチャレンジ教室」の開催については、各種補助財源の確保と、一層の指導体制の強化・整備を図り継続することが必要な事業である。 ・ 学校の宿題をはじめ、苦手教科の支援、季節によって遊びやスポーツ、工作などを企画しながら安全管理を図り、年間を通して

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	*水泳教室 62名登録（20回開催） *バドミントン教室 15名登録（鬼脇24回開催） *カルタ教室 12名登録（40回開催）	学校教育とは違う環境の中で、体験活動などを通じ、子どもたちの成長を育んでおり、今後も継続実施することが必要である。

③ 文化・芸術活動の推進

芸術・文化は、人々の創造性を広げ、感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上での大きな力となり地域活性化の基盤となる。
また、本町の歴史や伝統を伝える様々な文化財を大切に保護するとともに情報の発信に努める。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○心の豊かさと情操を高める活動の展開	・利尻富士町文化協会への助成、活動支援 利尻富士町文化協会補助金 360千円 ・劇団四季の利尻公演開催 8月24日 利尻町どんと 「王様の耳はロバの耳」鑑賞 (全校児童生徒・教育関係者 204名参加)	・文化協会に加盟している文化芸術関連団体へは、今後も文化活動の活性化を図るため、支援の継続が必要である。 ・次代を担う児童、生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し大切にする心を養うことを目的とした、舞台芸術の直接鑑賞機会を持つことが出来ている。
○文化財の収集・保存・継承	・郷土資料の収集・調査の継続 主な収集資料（旧瀧澤漁場・沼浦神社関係資料等） ・出前講座や広報等による広報活動の推進 ・町研、学校授業等講演活動の実施 ・沼浦海水浴場遺跡学術調査の実施（3/4年）	・今後も情報発信を図り、町内外にある資料の積極的な調査、収集を行う。 ・一般成人向け講座や公共施設等での展示内容の充実を図り、広報「りしりふじ」への連載など文化財への興味、関心を高める活動を行っていく。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
	・ミニシンポジウム「沼浦の遺跡調査」 5/15 鬼脇公民館（29名参加） ・管内巡回展「宗谷の学び舎」 9/1～9/24 本泊小学校 ・稚内利尻礼文の縄文遺跡出土品展 6/24～通年 稚内フェリーターミナル ・「利尻学講座」の開催（りぶら 21名参加） ・郷土資料館の継続利用（入館者 8,345名） ・リイシリ運上屋説明板取替	・文化財は、町の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、今後も、その保存が適切に行われることが重要である。

④ 健康づくり・スポーツ活動の推進

スポーツは、人格の形成や体力の向上、心身の健康保持増進に寄与するとともに、私たちに多くの夢・感動・楽しみを与え、活力に満ちた社会を形成するうえで大切な役割を果たしている。町民だれもが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツに楽しむことができる環境整備を図る。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
○生涯スポーツの普及 ・ 体育、スポーツ団体への助成	・ 各種団体への助成、活動支援 利尻富士町体育協会補助金 420 千円 スポーツ少年団育成補助金 200 千円 さわやかマラソン大会補助金 300 千円	・ 生涯スポーツの振興、活動推進、指導者の育成、各スポーツ関係団体との連携を図るため、今後も助成を継続することが必要である。 ・ 各種スポーツ団体において、指導者育成の取り組みが重要であり、研修会等を通じて指導力の強化及び資質向上が必要である。

方針の事業内容	事業の取組状況	評価と今後の課題
・各種スポーツ大会、イベントへの支援	・主催、後援などを行った主な事業 4月15日 第31回教育長杯ミニバレー大会 5月 駕泊・鬼脇パークゴルフ場オープン 6月 4日 第18回利尻島一周悠遊覧人G (561名参加) 7月 7日 わんぱくマラソン大会 2018 (小学生 58名参加) 7月 8日 鬼脇公民館長杯パークゴルフ大会 8月 26日 利尻島一周ふれあいサイクリング (271名参加) 9月 22～23日 利礼6地区親睦野球大会(当町) 9月 30日 教育長杯パークゴルフ大会 1月 6日 駕泊・鬼脇スキー場オープン 2月 2日 鬼脇雪ん子広場 2月 10日 りしり寒飲まつり 2月 17日 町民スキー大会	・年々人口が減少する中、今後も町民のニーズを捉え、各団体と協力、連携しながら生涯スポーツの普及と振興を図り、町民誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、気軽に参加、スポーツに親しむことができる環境整備に努めることが大切である。 ・運動を始めるきっかけとして野外活動やスポーツ、レクリエーション活動の取り組みをイベントの合間をみて積極的に取り組んでいくことが必要である。
○体育施設の適切かつ効率的な施設運営	・利用者数(平成30年4月～平成31年3月) 総合体育館 6,866人(352人増) パークゴルフ場 2,591人(51人増) スキー場 4,043人(266人増) 翔武館 1,464人(59人増) 地域青少年会館 2,305人(73人減) 野球場 136人(101人減)	・施設の管理委託を含め、利用者の利便性や安全性を考慮しながら、各施設の整備と維持補修等を計画的に行い、適切な運営に努めることが重要である。